

梅雨・台風  
に備えて

特集

# 防災のすすめ

## ○近年の災害

### 平成2年7月豪雨

六角川では破堤、越水等により記録的な大規模浸水が発生。家屋損壊49戸、床上浸水1,267戸、床下浸水1,155戸。土砂災害が多発。

### 平成17年3月20日

#### 福岡西方沖地震

六角川沿いの軟弱地盤は揺れやすく北方町では震度5弱を観測し鳥居が倒壊。

### 平成21年7月

#### 中国・九州北部豪雨

3日間で444mmを観測。床上浸水60戸、床下浸水215戸、赤穂山トンネル付近で大規模な道路崩壊が発生(写真)。

市内には、六角川、松浦川と2つの大きな河川が流れ、山間部には約一五〇〇カ所の土砂災害危険箇所があります。

昭和28年6月西日本水害、昭和42年7月、昭和55年8月豪雨など、毎年のように浸水害や土砂災害に悩まされてきました。

平成2年の水害以降、河川改修、ポンプ場の設置などで浸水被害は減少しましたが、近年の大雨は、局地的、長時間降り続く傾向にあり、災害が発生する危険性は高まっています。

これから、梅雨、台風シーズンに突入します。この機会に改めて「防災」について考えてみませんか。

